



「白鷹にピンクの農家がいるぞー！」
若者に農業を知ってもらおう存在にー

ぴんくのヒヨコ

梅津 うめつ

悠さん はるか
(浅立在住)



この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。



今回ご紹介するのは、町内在住の女性若手農家の梅津さん。

梅津さんは、実家の祖父母が農業をやっており、小さい頃から農業という仕事が身近にありました。

ある日、家に帰ると救急車が停まっており祖父が運ばれていきました。なんと、明日から田植えを始めるため、その準備をしていた時に小屋の階段から落ち大ケガを負ったのです。あまりにも急な事態に、「とりあえず明日の田植えは私がやる！」と決め、地域の方に教わりながら田植えを行ってみると、「男性じゃなくても農業つてできるんじゃない？」と感じた梅津さん。そのタイミングで新規就農給付金という制度もでき、やるしかない！と心を決めました。

また、当時は髪をピンク色にしたくて職を転々としていた経緯もあり、個人農家であれば自分の理想のスタイルで仕事ができるということにも気づいたそうです。

梅津さんは、主に水稻種子を生産しており、4月の種まき時には、姉妹や親族など子どもを含め20人ほどが集まり賑やかに作業を行って

自分スタイルで
楽しく働くのがモットー！



います。

また、作りたいものはたくさんある反面、売る場所がないと悩んでいた時に支えてくれたのが「町内の女性コミュニティ」だったようです。何かあれば、みんなが集まりマーケットを開く場所を作ってくれるなど、仲間の存在は非常に大きいと話す梅津さん。

最後に、今後の展望について伺うと、「私の存在が、若い人や女性の方の目に留まり、農業に興味を持ってくれたらとても嬉しいですね。『ピンクの農家がいる！』と声をかけてくれる人もたくさんいるんですよ！（笑）」と夏の日差しのようにまぶしい笑顔で語ってくれました